参考資料１

【事前確認シート】

１．　平成２４年度「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の応募書類の提出に当たって

「学術定期刊行物」

応募書類を提出するに当たっては、以下のことを確認してください。

①必要な応募書類・提出部数は全て揃っていますか？
※必要とされる応募書類の提出がない場合は、**審査に付すことができなくなります**ので、提出する前に必ず確認をしてください。

※特に、複数の「審査希望分野」での審査を希望＜広領域応募＞される場合には、選択した「審査希望分野」の数によって、必要とされる**①「計画調書」②「「経理管理及び監査体制」についての添付資料」**、**③「直接出版費見積書」**の提出部数が異なりますので、必ずもう一度確認をしてください。

②「計画調書」「応募カード」「直接出版費見積書」は、平成２４年度応募用の所定の様式を使用していますか？

③「計画調書」は、正本・副本ともに、きちんと**両面印刷**となっていますか？
また、「計画調書」の左側がきちんと**糊付け**されていますか？
副本のうち、糊付けをしないクリップ留めのものが1部用意されていますか？

④「応募カード」は、**片面印刷**となっていますか？
また、「応募カード」の左側がきちんと**糊付け**されていますか？

⑤「計画調書」及び「応募カード」に、**乱丁・落丁**などはありませんか？
※これらの書類に乱丁・落丁があった場合は、適切な審査が行えなくなります。（場合によっては、審査に付すことができなくなります）

⑥応募書類に必要事項の記載漏れはありませんか？

⑦「見積書」からの**数字（金額・回数・部数・頁数・その他の数字・記載事項等）**の転記に誤りはありませんか？
（なお、見積書において「円単位」となっているものを、計画調書作成・記入要領の注意書きに従って、「千円未満の端数を切り捨てて千円単位に修正」したことに伴う金額の相違については、この限りではありません。）

⑧「計画調書」及び「応募カード」に記載された、**金額・件数・回数・部数・頁数・その他の数字及びその合計**に誤りはありませんか？

応募に必要な書類及び提出部数

応募に必要な書類	提出部数
学術定期刊行物計画調書	５部（正１部、副４部） ※副のうち１部はｸﾘｯﾌﾟでとめる
「広領域」での審査を希望する場合	
審査希望分野が２つの場合	１０部（正１部、副　９部）
審査希望分野が３つの場合	１５部（正１部、副１４部） ※副のうち１部はｸﾘｯﾌﾟでとめる
「経理管理及び監査体制」についての添付資料（経理管理関係規則）	５部
「広領域」での審査を希望する場合	
審査希望分野が２つの場合	１０部
審査希望分野が３つの場合	１５部
応募カード	１部
見積書	５部（正１部、副４部）
「広領域」での審査を希望する場合	
審査希望分野が２つの場合	１０部（正１部、副　９部）
審査希望分野が３つの場合	１５部（正１部、副１４部）
その他の審査資料 (1)最新刊行物 (2)学会等規則　Ⓐ (3)投稿規程　Ⓑ (4)最新年度決算書　Ⓒ （※応募対象の刊行事業のみに係る収支計算書が別にある場合は、併せて提出すること。） (5)レフェリー制等の規定　Ⓓ （閲読査審査等について定めた規程、基準、指針等）	各１部

平成２４年度 研究成果公開促進費 審査希望分野表

系	審査希望分野	番号	参考となる関連専門分野
人文科学系	哲学	110	哲学・倫理学　中国哲学　印度哲学・仏教学　宗教学　思想史　美学・美術史
	文学Ａ	120	日本文学
	文学Ｂ	130	ヨーロッパ語系文学　各国文学・文学論　その他文学Ａに該当しないもの
	言語学	140	言語学　日本語学　英語学　日本語教育　外国語教育
	史学Ａ	150	日本史
	史学Ｂ	160	史学一般　東洋史　西洋史　考古学　その他史学Ａに該当しないもの
	人文地理学・文化人類学	170	人文地理学　文化人類学・民俗学
社会科学系	法学	210	基礎法学　公法学　国際法学　社会法学　刑事法学　民事法学　新領域法学
	政治学	220	政治学　国際関係論
	経済学	230	理論経済学　経済学説・経済思想　経済統計学　応用経済学　経済政策 財政学・金融論　経済史
	経営学	240	経営学　商学　会計学
	社会学	250	社会学　社会福祉学
	心理学	260	社会心理学　教育心理学　臨床心理学　実験心理学
	教育学Ａ	270	教育学　教育社会学　特別支援教育
	教育学Ｂ	280	教科教育学　その他教育学Ａに該当しないもの
理工系	数物系科学Ａ	310	数学　天文学　物理学　プラズマ科学
	数物系科学Ｂ	320	地球惑星科学　その他数物系科学Ａに該当しないもの
	化学	330	基礎化学　複合化学　材料化学
	工学Ａ	340	応用物理学・工学基礎　電気電子工学　材料工学　プロセス工学
	工学Ｂ	350	機械工学　土木工学　建築学　総合工学　その他工学Ａに該当しないもの
生物系	生物学	410	基礎生物学　生物科学　人類学
	農学	420	農学　農芸化学　林学　水産学　農業経済学　農業工学　畜産学・獣医学　境界農学
	医歯薬学Ａ	430	薬学　基礎医学
	医歯薬学Ｂ	440	内科系臨床医学　外科系臨床医学　歯学
	医歯薬学Ｃ	450	境界医学　社会医学　看護学　その他医歯薬学Ａ及び医歯薬学Ｂに該当しないもの

２．　「応募カード」の記載事項を確認するに当たって

「応募カード」は、

・応募課題を審査するに当たっての審査資料の作成
・採否の結果をお知らせする際の通知文書の作成
・採択のあった課題に対して、交付決定を行う際の通知文書の作成
・補助金額の決定
・その他、採択課題として決定した後の事務処理

を行う際の基礎となる、**非常に重要な応募書類**です。

「計画調書」に正しい記載があっても、「応募カード」に正しく転記がなされていなかったり、記載漏れがあった場合には、審査に付すことができなくなったり、「応募カード」に記載された誤った情報のまま審査に付され、その後処理されることになりますので、記載漏れ・記載情報の誤りが無いか、次頁以降の注意書きの内容を参照の上、確認してください

【記入例】

この欄は記入しないでください。

受付番号	

平成24年度　学術定期刊行物　応募カード

（応募カード作成・記入要領に基づき記入してください。）

応募代表者職名・氏名（記名押印又は署名）

会長　学術　花子　　印

※　郵便物等送付先（書類送付の際の宛名シールの基本となります。）

（1）郵便番号

1	2	3	－	4	5	6	7

（2）住　所

○	○	県	△	△	町	大	字	◇	◇									
字	☆	☆	☆	☆	1	5	2	2	－	3								

（3）宛　名

○	○	大	学		文	学	部		英	文	学	科						
△	△	研	究	室														
学	振		太	郎														

1　審査希望分野【計画調書1】

4	1	0

（対応する番号を記入）

＜広領域応募の場合のみ記入＞【計画調書1-2】

（対応する番号を記入）

2　応募団体名称【計画調書3】

（1）フリガナ

シ	ヤ	ク	゛	ン	ホ	ウ	シ	゛	ン		ニ	ホ	ン	カ	゛	ク	シ	゛	ユ
ツ	カ	゛	ッ	カ	イ														

（2）漢　字

社	団	法	人		日	本	学	術	学	会								

3　応募代表者職名・氏名【計画調書4】

（1）フリガナ

カ	イ	チ	ョ	ウ		カ	゛	ク	シ	゛	ュ	ツ		ハ	ナ	コ			

（2）漢　字

会	長		学	術		花	子												

刊行物の名称	Journal of Gakujyutsu

1．応募代表者の職名・氏名に誤りはありませんか？
・記名、押印又は署名（直筆）がありますか？
・押印は、応募代表者本人の印**（個人印）**となっていますか？
応募団体の公印・職印が誤って押されていませんか？

2．（1）郵便番号、（2）住所、（3）宛名に誤りはありませんか？
この欄に記載された住所に、「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の関係書類を送付することになりますので、誤りがないか確認をしてください。

なお、この住所（応募団体所在地）が日本国内でない場合は、審査に付すことができなくなります。
【参照】：公募要領１２頁　「(1)学術定期刊行物」

3．「審査希望分野」は正しく記載されていますか？
・審査希望分野が１つの分野である場合
⇒**上段**にのみ、対応する審査希望分野の番号が正しく記載されていること。

・審査希望分野が２つ以上の分野にまたがる場合＜広領域応募＞
⇒**下段**にのみ、対応する審査希望分野の番号が正しく記載されていること。

なお、以下①～④に該当する場合は、審査に付すことができなくなります。
①審査希望分野の番号の記入が無い。
②上段、下段の両方に審査希望分野の番号が記載されている。
③「審査希望分野表」に存在しない番号が記載されている。
④「広領域応募」の応募課題で、同じ「系（人文科学系・社会科学系・理工系・生物系）」の中から２つ以上の審査希望分野の番号が記載されている。

計画調書１頁。「３　応募団体名称」と同一ですか？
「フリガナ」に記入漏れはありませんか？
濁点・半濁点も「１文字」として正しく記載されていますか？

4．計画調書１頁。「４　応募代表者職名・氏名」と同一ですか？
「フリガナ」に記入漏れはありませんか？
職名と氏名の間、氏名の姓と名の間には、**１枠分のスペース**が空いていますか？
濁点・半濁点も「１文字」として正しく記載されていますか？

刊行物の名称は正しく記載されていますか？

【記入例】

4　種　　類【計画調書6】

2　（ 1:特定欧文総合誌　2:欧文誌　3:欧文抄録を含む和文誌 ）

5　刊行物の名称【計画調書7】

J	o	u	r	n	a	l		o	f		G	a	k	u	j	y	u	t	s
u																			

6　創刊年月【計画調書11】

元号:1. 明治　2. 大正　3. 昭和　4. 平成

3（対応する番号を記入）　3 2 年　 1 月

7　判　　型【計画調書12】

電	子	版	、	A	4														

8　年間刊行回数(平成24年度)【計画調書15】

4 回

9　平成24年度刊行スケジュール【計画調書16】

	V	o	l	.	3	8		N	o	.	4									
～	V	o	l	.	3	9		N	o	.	3									

10　年間総頁数(計)【計画調書17】

(平成24年度)

欧　文			9	7	0	頁
和　文				2	0	頁

11　1回当たり発行部数(計)【計画調書18】

(平成24年度)

	2	0	0	0	部
(うち海外発送部数)		8	4	0	部
(うち海外有償頒布部数)		3	5	0	部

12　刊行における協力体制【計画調書19】

協力体制にある他の学会等を含めた数						2	団体
会員数の合計			2	7	4	0	0	人

13　編集委員長(編集責任者)の氏名・任期【計画調書22】

(1) 氏名

学	術		花	子														

(2) 任期

平成 2 2 年　 4 月　 1 日 ～ 平成 2 4 年　 3 月 3 1 日

14　編集委員数【計画調書25】　　(うち外国人)

平成24年度　　 1 0 人 （　　 3 人 ）

刊行物の名称	Journal of Gakujyutsu

5．「4　種類」欄に、該当する区分（特定欧文総合誌、欧文誌、欧文抄録を有する和文誌）の番号が正しく記載されていますか？

「学術定期刊行物」は、種類ごとに応募の条件が異なるため、この欄に記載の誤り、「空欄」または、１～３以外の番号が記載されていた場合は、審査に付すことができなくなります。

なお、当該「応募カード」の２頁「10 年間総頁数（平成24年度）」に記載された欧文・和文の頁数をもとに、以下の要領で、選択した区分に誤りが無いかを確認してください。

$$\text{【欧文の率】} = \frac{\text{欧文頁数}}{\text{欧文頁数} + \text{和文頁数}} \times 100 \text{（少数第２位を切り捨て）}$$

＊上記で算出した結果
- １００％の場合＝「１」又は「２」
- ５０．０％以上（５０％ちょうどを含みます）の場合＝「２」
- ５０．０％未満の場合＝「３」

6．「5　刊行物の名称」欄に記載された名称に誤りはありませんか？

※注意：「計画調書」に正しい記載があっても、「応募カード」に誤った名称での記載がある場合は、当該「応募カード」に記載のある名称で審査に付され、また、採択課題として公表されることとなります。

7．「10 年間総頁数（平成24年度）」欄の欧文・和文のそれぞれの頁数に誤り又は記入漏れはありませんか？

※当該「応募カード」の２頁「４ 種類」で選択された区分が正しいか否かを判断する基礎となる重要な数字ですので、誤りが無いことを確認してください。

8．「11　１回当たり発行部数（平成24年度）」欄に記載の部数に誤りはありませんか？

（うち海外有償頒布部数）は、計画調書の「会員有料頒布部数(▲)」と「売上げ部数(■)」のそれぞれの「（うち海外発送部数）」の合計と一致していますか？

刊行物の名称は正しく記載されていますか？

【記入例】

15　レフェリー数 【計画調書26】

		(うち外国人)
平成２４年度	16 人	(8 人)

16　投稿論文取扱状況 【計画調書27】

		(うち海外からの件数)
平成22年度投稿論文数	373 件	(30 件)
平成23年10月1日現在の		(うち海外からの件数)
掲載(採用)件数	147 件	(14 件)
審査中件数	20 件	(5 件)
不採用件数	206 件	(11 件)

投稿から掲載までの平均期間・最短期間

平均期間　30 日　　最短期間　20 日

17　掲載論文の状況 【計画調書28】

		(うち海外からの件数)
平成２２年度	122 件	(12 件)
平成２１年度	131 件	(10 件)
平成２０年度	119 件	(8 件)

18　海外有償頒布部数実績 【計画調書29】

(1回当たり)

平成２２年度	200 部
平成２１年度	160 部
平成２０年度	150 部

19　海外学術雑誌における掲載論文の引用状況 【計画調書31】

	引用件数	Impact factor値
2009年	件	
2010年	408 件	該当なし 1.6787

20　課題番号及び内約を受けた額**(継続課題についてのみ、その内約期間に限り記入のこと)**

【計画調書35】

課題番号　233456

平成24年度	30000 千円
平成25年度	30000 千円
平成26年度	15000 千円

21　補助要求額 【計画調書36】
(1,000千円以上)

平成24年度	30000 千円
平成25年度	30000 千円
平成26年度	15000 千円
平成27年度	15000 千円

22　補助対象経費合計
【計画調書37】[(A)+(B)+(C)]
(補助対象経費合計 ≧補助要求額(21))

平成24年度	65000 千円
平成25年度	65000 千円
平成26年度	33000 千円
平成27年度	33000 千円

刊行物の名称	Journal of Gakujyutsu

9．「16 投稿論文取扱状況」欄に記載された件数に誤りはありませんか？

【参照】：計画調書６頁「27 投稿論文取扱状況」

10．「17 掲載論文の状況」「18 海外有償頒布部数実績（１回当たり）」欄に記載した件数・部数に誤り又は記入漏れはありませんか？

なお、今回応募しようとする学術誌が創刊号である場合等を除いて、当該２ヶ所とも、過去３年間の実績が「０（ゼロ）」または記載がない場合は、審査に付すことができなくなります。

【参照】：計画調書６頁「28 掲載論文の状況」「29 海外有償頒布部数実績国別内訳（１回当たり）」
【参照】：公募要領６頁「(1)対象 ⑥」

11．この欄は、平成２４年度に継続内約があり、かつ大幅な事業計画の変更を行おうとする課題に該当する場合に使用する欄です。
平成２４年度に継続内約の無い応募課題であるにも関らず、誤ってこの欄に記入されているようなことはありませんか？
※平成２３年度の「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の交付決定を受けていても、同時に翌年度（平成２４年度）以降の補助金の交付予定額の内約を受けていない課題は、今回応募をする際には。「新規応募課題」としての扱いとなりますので、この欄には

12．「21 補助要求額」欄に記載されている金額に誤りはありませんか？
計画調書８頁の「36 補助要求額(E)」欄に記載された金額が正しく転記されているかを確認してください。
なお、今回応募しようとする期間中の、各年度ごとの補助要求額が「100万円（1000千円）未満」または「無記入」である場合は、審査に付すことができなくなります。
【参照】：計画調書８頁「36 補助要求額（E）」

13．「22 補助対象経費合計」欄に記載された金額は、「21 補助要求額」を**下回っていませんか？**
【参照】：計画調書８頁「37 補助対象経費合計(D)」

刊行物の名称は正しく記載されていますか？

【記入例】

23　各年度ごとの会計期間【計画調書38】

平成22年度実績		1	月	～	1	2	月
平成23年度見込み		1	月	～	1	2	月
平成24年度		1	月	～	1	2	月
平成25年度		1	月	～	1	2	月
平成26年度		1	月	～	1	2	月
平成27年度		1	月	～	1	2	月

24　刊行事業に関する支出【計画調書39】

平成22年度実績			5	9	6	0	千円
平成23年度見込み			9	1	9	0	千円
平成24年度		1	0	2	7	0	千円
平成25年度			9	4	9	0	千円
平成26年度			4	9	1	0	千円
平成27年度			5	0	2	0	千円

14.　「24 刊行事業に関する支出」欄と計画調書８頁「39 刊行事業に関する支出」の総合計（F）が一致していますか？
【参照】：計画調書８頁「39 刊行事業に関する支出」

25　刊行事業に関する収入【計画調書41】

平成22年度実績			1	3	6	0	千円
平成23年度見込み			1	7	9	0	千円
平成24年度			2	7	8	0	千円
平成25年度			2	6	4	0	千円
平成26年度			1	5	6	0	千円
平成27年度			1	3	3	0	千円

15.　「25 刊行事業に関する収入」欄と計画調書９頁「41 刊行事業に関する収入」の総合計（G）が一致していますか？
【参照】：計画調書９頁「41 刊行事業に関する支出」

26　刊行事業に関する支出に関する補助要求額の割合【計画調書43】

平成22年度実績		―	―	・	―	%
平成23年度見込み		2	9	・	3	%
平成24年度		2	9	・	2	%
平成25年度		3	1	・	6	%
平成26年度		3	0	・	5	%
平成27年度		2	9	・	8	%

27　総支出と総収入の差【計画調書44】

平成22年度実績			4	6	0	0	千円
平成23年度見込み			7	4	0	0	千円
平成24年度			7	4	9	0	千円
平成25年度			6	8	5	0	千円
平成26年度			3	3	5	0	千円
平成27年度			3	6	9	0	千円

16.　「27 総支出と総収入の差」欄は、「39 刊行事業に関する支出」の総合計（F）から、「41 刊行事業に関する収入」の総合計（G）を引いた金額となっていますか？
【参照】：計画調書９頁「44 総収入と総支出の差」

刊行物の名称	Journal of Gakujyutsu

刊行物の名称は正しく記載されていますか？

【事前確認シート】

１．　平成２４年度「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の応募書類の提出に当たって

「データベース（研究成果データベース）」

応募書類を提出するに当たっては、以下のことを確認してください。

①必要な応募書類・提出部数は全て揃っていますか？
※必要とされる応募書類の提出がない場合は、**審査に付すことができなくなります**ので、提出する前に必ず確認をしてください。

※特に、複数の「審査希望分野」での審査を希望＜広領域応募＞される場合には、選択した「審査希望分野」の数によって、必要とされる**①「計画調書」**、**②「「経理管理及び監査体制」についての添付資料」（学術団体等が応募する場合に該当）**、**③「入力作業委託費見積書」**、**④「CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費見積書」**の提出部数が異なりますので、必ずもう一度確認してください。

②「計画調書」「応募カード」「入力作業委託費見積書」「CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費見積書」「CD-ROM又はDVD-ROM等配布先一覧」は、平成２４年度応募用の所定の様式を使用していますか？

③「計画調書」は、正本・副本ともに、きちんと**両面印刷**となっていますか？
また、計画調書の左側がきちんと**糊付け**されていますか？
副本のうち、糊付けをしないクリップ留めのものが1部用意されていますか？

④「応募カード」は、**片面印刷**となっていますか？
また、「応募カード」の左側がきちんと**糊付け**されていますか？

⑤「計画調書」及び「応募カード」に、**乱丁・落丁**などはありませんか？
※これらの書類に乱丁・落丁があった場合は、適切な審査が行えなくなります。（場合によっては、審査に付すことができなくなります）

⑥　応募書類に必要事項の記載漏れはありませんか？

⑦「見積書」からの**数字（単価・員数・金額・その他の数字・記載事項等）**の転記に誤りはありませんか？
（なお、見積書において「円単位」となっているものを、計画調書作成・記入要領の注意書きに従って、「千円未満の端数を切り捨てて千円単位に修正」したことに伴う金額の相違については、この限りではありません。）

⑧「計画調書」及び「応募カード」に記載された、**単価・員数・金額・件数・人数・その他の数字及びその合計**に誤りはありませんか？

応募に必要な書類及び提出部数

応募に必要な書類	提出部数
データベース計画調書	５部（正１部、副４部） ※副のうち１部はｸﾘｯﾌﾟでとめる
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が２つの場合 審査希望分野が３つの場合	 １０部（正１部、副　９部） １５部（正１部、副１４部） ※副のうち１部はｸﾘｯﾌﾟでとめる
「経理管理及び監査体制」についての添付資料 （**経理管理関係規則**）※学術団体等が応募する場合に該当	５部
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が２つの場合 審査希望分野が３つの場合	 １０部 １５部
応募カード	１部
入力作業委託費見積書	５部（正１部、副４部）
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が２つの場合 審査希望分野が３つの場合	 １０部（正１部、副　９部） １５部（正１部、副１４部）
CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費見積書	５部（正１部、副４部）
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が２つの場合 審査希望分野が３つの場合	 １０部（正１部、副　９部） １５部（正１部、副１４部）
その他の審査資料 (1)利用規程　Ⓐ (2)検索過程・結果　Ⓑ （検索開始から検索結果が表れるまでの画面上の過程をそれぞれプリントスクリーン等で印刷し、検索過程における画面上の流れが分かるようにしたもの） (3)検索マニュアル　Ⓒ (4)CD-ROM又はDVD-ROM等配布先一覧	各１部

平成２４年度 研究成果公開促進費 審査希望分野表

系	審査希望分野	番号	参考となる関連専門分野
人文科学系	哲学	110	哲学・倫理学　中国哲学　印度哲学・仏教学　宗教学　思想史　美学・美術史
	文学A	120	日本文学
	文学B	130	ヨーロッパ語系文学　各国文学・文学論　その他文学Aに該当しないもの
	言語学	140	言語学　日本語学　英語学　日本語教育　外国語教育
	史学A	150	日本史
	史学B	160	史学一般　東洋史　西洋史　考古学　その他史学Aに該当しないもの
	人文地理学・文化人類学	170	人文地理学　文化人類学・民俗学
社会科学系	法学	210	基礎法学　公法学　国際法学　社会法学　刑事法学　民事法学　新領域法学
	政治学	220	政治学　国際関係論
	経済学	230	理論経済学　経済学説・経済思想　経済統計学　応用経済学　経済政策 財政学・金融論　経済史
	経営学	240	経営学　商学　会計学
	社会学	250	社会学　社会福祉学
	心理学	260	社会心理学　教育心理学　臨床心理学　実験心理学
	教育学A	270	教育学　教育社会学　特別支援教育
	教育学B	280	教科教育学　その他教育学Aに該当しないもの
理工系	数物系科学A	310	数学　天文学　物理学　プラズマ科学
	数物系科学B	320	地球惑星科学　その他数物系科学Aに該当しないもの
	化学	330	基礎化学　複合化学　材料化学
	工学A	340	応用物理学・工学基礎　電気電子工学　材料工学　プロセス工学
	工学B	350	機械工学　土木工学　建築学　総合工学　その他工学Aに該当しないもの
生物系	生物学	410	基礎生物学　生物科学　人類学
	農学	420	農学　農芸化学　林学　水産学　農業経済学　農業工学　畜産学・獣医学　境界農学
	医歯薬学A	430	薬学　基礎医学
	医歯薬学B	440	内科系臨床医学　外科系臨床医学　歯学
	医歯薬学C	450	境界医学　社会医学　看護学　その他医歯薬学A及び医歯薬学Bに該当しないもの

２．　「応募カード」の記載事項を確認するに当たって

「応募カード」は、

・応募課題を審査するに当たっての審査資料の作成
・採否の結果をお知らせする際の通知文書の作成
・採択のあった課題に対して、交付決定を行う際の通知文書の作成
・補助金額の決定
・その他、採択課題として決定した後の事務処理

を行う際の基礎となる、**非常に重要な応募書類**です。

「計画調書」に正しい記載があっても、「応募カード」に正しく転記がなされていなかったり、記載漏れがあった場合には、審査に付すことができなくなったり、「応募カード」に記載された誤った情報のまま審査に付され、その後処理されることになりますので、記載漏れ・記載情報の誤りが無いか、次頁以降の注意書きの内容を参照の上、確認してください

【記入例】

この欄は記入しないでください

*受付番号	

※応募(代表)者が所属する研究機関が記入する事項	研究機関名称	○○○大学		
	機関番号	１２３４５	整理番号	１

機関管理となる課題が対象］これらの項目は、研究機関において確認をしてください。
１．　記載されている「機関番号」に誤りはありませんか？
「整理番号」の**重複・抜け**はありませんか？
所属研究機関の研究者名簿に登録されている正しい研究者番号が記載されていますか？

平成２４年度 データベース 応募カード

（応募カード作成・記入要領に基づき記入してください。）

応募区分　：　１．研究成果ＤＢ　　２．学術誌ＤＢ　1　（対応する番号を記入）

２．希望する「応募区分」がきちんと選択（対応する番号を記入）されていますか？
この応募区分に誤り又は選択が無い場合は、適切に審査ができなくなる場合がありますので、必ず該当の区分を正しく選択してください。

（ 研究者番号：１２３４５６７８ ）

フ　リ　ガ　ナ
応募(代表)者職名・氏名　　ガクジュツ　　ハナコ
（記名押印又は署名）　委員長　学　術　花　子　印
（生年月日：明・大・昭　○○年○○月○○日生）

3．応募（代表）者の職名・氏名（記名・押印又は署名（直筆））は正しく記載されていますか？
応募代表者の職名は、当該データベース作成組織における代表者職名（委員長・会長等）になっていますか？**（また、学術団体等が応募する場合は、応募代表者が当該団体の長になっていますか？）**
押印は、応募代表者本人の印**（個人印）**となっていますか？
「フリガナ」「生年月日」は正しく記載されていますか？

※　郵便物等送付先（書類送付の際の宛名シールの基本となります。）

(1) 郵便番号　1 2 3 － 4 5 6 7

(2) 住　所

△	△	市	◇	◇	区	×	×		1	ー	5	ー	9						

(3) 宛　名

○	○	大	学	○	○	学	部	○	○	研	究	室		気	付				
○	○	テ	゛	ー	タ	ベ	ー	ス	作	成	委	員	会						
学	振		太	郎															

4．（1）郵便番号、（2）住所、（3）宛名に誤りはありませんか？
この欄に記載された住所に、「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の関係書類を送付することになりますので、誤りがないか確認をしてください。
なお、この住所（作成組織所在地又は応募者自宅住所）が、日本国内でない場合は、審査に付すことができなくなります。
【参照】：公募要領１２頁　「(3)データベース」

※「機関管理となる課題」の場合は所属研究機関へ関係書類を送付することになるため、この欄の記入は必要ありません。

1　審査希望分野[**共通**]**【研究成果DB、学術誌DB 計画調書１】**
4 1 0　（対応する番号を記入）
＜広領域応募の場合のみ記入＞**【研究成果DB、学術誌DB 計画調書1-2】**
（対応する番号を記入）

5．「審査希望分野」は正しく記載されていますか？
・審査希望分野が**１つ**の分野である場合
⇒**上段**にのみ、対応する審査希望分野の番号が正しく記載されていること。
・審査希望分野が**２つ以上**の分野にまたがる場合＜広領域応募＞
⇒**下段**にのみ、対応する審査希望分野の番号が正しく記載されていること。

2　作成組織又は応募団体の名称　【研究成果DB、学術誌DB 計画調書３】
【共通】

(1) フリガナ

○	○	テ	゛	ー	タ	ベ	゛	ー	ス	サ	ク	セ	イ	イ	イ	ン	カ	イ	

(2) 漢　字

○	○	テ	゛	ー	タ	ベ	゛	ー	ス	作	成	委	員	会					

6．計画調書１頁。「３　作成組織の名称」と同一ですか？
「フリガナ」に記入漏れはありませんか？
濁点・半濁点も「１文字」として正しく記載されていますか？

ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの名称	○○○○○○○○○データベース

7．データベースの名称は正しく記載されていますか？

（注意）なお、以下①～④に該当する場合は、審査に付すことができなくなります。
①審査希望分野の番号の記入が無い。
②上段、下段の両方に審査希望分野の番号が記載されている。
③「審査希望分野表」に存在しない番号が記載されている。
④「広領域応募」の応募課題で、同じ「系（人文科学系・社会科学系・理工系・生物系）」の中から**２つ以上**の審査希望分野の番号が記載されている。

【参照】：計画調書１頁「１　審査希望分野(番号)」及び「1-2 審査希望分野(番号)」

【記入例】

3　応募(代表)者の職名・氏名　**【共通】【研究成果DB、学術誌DB 計画調書４】**

(1)フリガナ

イ	イ	ン	チ	ョ	ウ		カ	゛	ク	シ	゛	ュ	ツ		ハ	ナ	コ		

(2)漢　字

委	員	長		学	術		花	子											

8．計画調書１頁。「４　応募（代表）者の職名・氏名」と同一ですか？
「フリガナ」に記入漏れはありませんか？
濁点・半濁点も「１文字」として正しく記載されていますか？
職名と氏名の間及び氏名の姓と名の間は**１枠分のスペース**が空いていますか？

4　データベースの名称（日本語名及び英語名略称）　**【共通】**

【研究成果DB、学術誌DB　計画調書６】

(1) 日本語名

○	○	○	○	○	○	○	○	○	テ	゛	ー	タ	ヘ	゛	ー	ス			

(2) 英語名略称

A	B	C	D	B															

9．計画調書１頁。「６　データベースの名称」と同一ですか？
濁点・半濁点も「１文字」として正しく記載されていますか？

※　以下５～６は、応募区分が「研究成果ＤＢ」の場合のみ記入してください。

5　対象分野　【研究成果DB 計画調書７】

○	○	○	○	の	分	野													

10．計画調書１頁。「７　対象分野」と同一ですか？

6　データベースの種類・性格　【研究成果DB 計画調書９】

＜上　段＞　1　2　3　4　5　6　（複 数 選 択 可）

（１．書誌情報　２．数値情報　３．画像情報
４．音声情報　５．動画情報　６．そ の 他）

＜下　段＞　1　2　3　（複数選択可）　（　１．レファレンス　　２．論文　　３．ファクト　）

11．計画調書１頁。「９　データベースの種類・性格」と同一ですか？
上段・下段ともに記載漏れはありませんか？

【記入例】

※　以下７～９は、応募区分が「学術誌ＤＢ」の場合のみ記入してください。

12．応募区分が「研究成果データベース」の応募課題であるにも関らず、誤って記入されていませんか？

7　データベースの種類　【学術誌DB 計画調書９】

1	2	3	4	5	6

（複 数 選 択 可）

（１．書誌情報　２．数値情報　３．画像情報
４．音声情報　５．動画情報　６．そ の 他）

8　投稿論文取扱状況　【学術誌DB 計画調書22】

		(うち海外からの件数)
平成２２年度投稿論文数	件	(件)
平成23年10月１日現在の掲載(採用)件数	件	(件)
審 査 中 件 数	件	(件)
不 採 用 件 数	件	(件)

投稿から掲載までの平均期間・最短期間

平均期間　　日　　最短期間　　日

9　海外学術雑誌における掲載論文の引用状況　【学術誌DB 計画調書25】

	引 用 件 数		Impact factor値	
２００９年		件		
２０１０年		件		

13．データベースの名称は正しく記載されていますか？

ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの名称	○○○○○○○○○データベース

【記入例】

※　以下は、応募区分が「研究成果ＤＢ」、「学術誌ＤＢ」のいずれの場合も記入してください。
ただし、応募区分がいずれかの場合にのみ記入する旨の注記がある記入欄（12､15）については、該当しない応募区分の場合には記入しないでください。

10　公開開始年月もしくは公開予定年月　【研究成果DB　学術誌DB 計画調書10】
【共通】

昭和（平成）　1 9 年　 3 月
（元号はいずれかを○で囲むこと）

14．計画調書１頁。「10 公開状況」と同一ですか？

11　入力予定データ量　【研究成果DB 計画調書14】【学術誌DB 計画調書13】
【共通】

レコード数：平成２４年度分								1	5	0	0	件
作成期間の合計							1	0	5	0	0	件
総データ容量：平成２４年度分							2	0	0	.	0	ＭＢ
作成期間の合計						1	6	0	0	.	0	ＭＢ

15．計画調書２頁。「14 入力予定データ量」欄に記載された
＜レコード数＞
「平成２４年度」のレコード件数及び「今回応募する事業期間（１～５年）」の合計のレコード件数と同一ですか？
＜総データ容量＞
「平成２４年度」の総データ容量及び「今回応募する事業期間（１～５年）」の合計の総データ容量と同一ですか？

12　公開利用件数（アクセス数）の推移　【研究成果DB 計画調書16】【学術誌DB 計画調書15】
【共通】

平成２０年度実　績									件
平成２１年度実　績									件
平成２２年度実　績									件
平成２３年度見込み									0 件
平成２４年度見込み					1	0	0	0	0 件

16．【参照】：計画調書３頁。「16 公開利用件数（アクセス数）の推移」欄に記載された件数と同一ですか？

（うち有償アクセス件数の推移）【学術誌DB 計画調書15】
【「学術誌ＤＢ」の場合にのみ記入】

（平成２０年度実　績									件）
（平成２１年度実　績									件）
（平成２２年度実　績									件）
（平成２３年度見込み									件）
（平成２４年度見込み									件）

（うち海外からのアクセス件数の推移）【学術誌DB 計画調書15】
【「学術誌ＤＢ」の場合にのみ記入】

（平成２０年度実　績									件）
（平成２１年度実　績									件）
（平成２２年度実　績									件）
（平成２３年度見込み									件）
（平成２４年度見込み									件）

17．応募区分が「研究成果データベース」の応募課題であるにも関らず、誤って記入されていませんか？

ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの名称	○○○○○○○○○データベース

18．データベースの名称は正しく記載されていますか？

【記入例】

13　課題番号及び内約を受けた額　【研究成果DB 計画調書20】【学術誌DB 計画調書18】
（継続課題についてのみ、その内約期間に限り記入のこと）

課題番号	2	3	7	8	9	0

平成２４年度		6	6	0	0	千円
平成２５年度		7	2	0	0	千円
平成２６年度		7	2	0	0	千円
平成２７年度		8	0	0	0	千円

14　補助要求額　【研究成果DB 計画調書21】【学術誌DB 計画調書19】

【共通】							
平成２４年度		5	2	6	1	**千円**
平成２５年度		5	5	9	1	**千円**
平成２６年度		5	2	4	1	**千円**
平成２７年度		4	0	9	1	**千円**
平成２８年度		3	7	1	0	**千円**

15　補助要求額の内訳（平成２４年度）

【「研究成果ＤＢ」の場合にのみ記入】【研究成果DB 計画調書21】

入力作業協力に対する人件費・謝金		2	2	5	0	千円
入力作業委託費		1	4	4	0	千円
著作権使用料			4	0	0	千円
国内連絡旅費				8	1	千円（１００千円程度）
消耗品費			4	6	0	千円
CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費			3	8	0	千円
その他			2	5	0	千円

【「学術誌ＤＢ」の場合にのみ記入】【学術誌DB 計画調書19】

入力作業協力に対する人件費・謝金						千円
入力作業委託費						千円
著作権使用料						千円
消耗品費						千円
CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費						千円
その他						千円

データベースの名称	○○○○○○○○○データベース

19．この欄は、平成２４年度の継続内約があり、かつ大幅な計画変更を行おうとする課題に該当する場合に使用する欄です。
　平成２４年度に継続内約の無い応募課題であるにも関らず、誤ってこの欄に応募額等が記入されていることはありませんか？

※　**Ｈ２３年度の「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の交付決定を受けていても、同時に翌年度（平成２４年度）以降の科研費金の交付予定額の内約を受けていない課題が今回応募をする際には「新規応募課題」としての扱いとなりますので、この欄には何も記入しないでください。**

20．「14 補助要求額」欄に記載された各年度の金額に誤りはありませんか？
　計画調書に記載した、
「入力作業協力に対する人件費・謝金」、「入力作業委託費」、「著作権使用料」、「国内連絡旅費」、「消耗品費」、「ＣＤ－ＲＯＭ又はＤＶＤ－ＲＯＭ等作成委託費」、「その他」の各経費の合計額が正しく記載されていますか？

【参照】：計画調書４頁。「21 研究成果データベースの作成に直接必要となる経費」

なお、今回応募しようとする期間中の、各年度ごとの補助要求額が「０（ゼロ）」円または無記入である場合は、当該年度の科研費が交付されることはありません。なお、平成２４年度の補助要求額が「０（ゼロ）」円または無記入である場合は、審査に付すことができなくなります。

21．「15 補助要求額の内訳」欄に記載された平成２４年度の各経費の金額に誤りはありませんか？

なお「国内連絡旅費」は、１０万円（１００千円）程度までです。

【参照】：計画調書４頁　「21 研究成果データベースの作成に直接必要となる経費」
【参照】：公募要領１０頁　「(3)応募対象経費 ① d) 国内連絡旅費」

22．応募区分が「研究成果データベース」の応募課題であるにも関らず、誤って記入されていませんか？

23．データベースの名称は正しく記載されていますか？

【事前確認シート】

１．　平成２４年度「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の応募書類の提出に当たって

「データベース（学術誌データベース）」

応募書類を提出するに当たっては、以下のことを確認してください。

①必要な応募書類・提出部数は全て揃っていますか？
※必要とされる応募書類の提出がない場合は、**審査に付すことができなくなります**ので、提出する前に必ず確認をしてください。

※特に、複数の「審査希望分野」での審査を希望＜広領域応募＞される場合には、選択した「審査希望分野」の数によって、必要とされる**①「計画調書」**、**②「「経理管理及び監査体制」についての添付資料」**、**③「入力作業委託費見積書」**、**④「CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費見積書」**の提出部数が異なりますので、必ずもう一度確認してください。

②「計画調書」「応募カード」「入力作業委託費見積書」「CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費見積書」「CD-ROM又はDVD-ROM等配布先一覧」は、平成２４年度応募用の所定の様式を使用していますか？

③「計画調書」は、正本・副本ともに、きちんと**両面印刷**となっていますか？
また、計画調書の左側がきちんと**糊付け**されていますか？
副本のうち、糊付けをしないクリップ留めのものが1部用意されていますか？

④「応募カード」は、**片面印刷**となっていますか？
また、「応募カード」の左側がきちんと**糊付け**されていますか？

⑤「計画調書」及び「応募カード」に、**乱丁・落丁**などはありませんか？
※これらの書類に乱丁・落丁があった場合は、適切な審査が行えなくなります。（場合によっては、審査に付すことができなくなります）

⑥　応募書類に必要事項の記載漏れはありませんか？

⑦「見積書」からの**数字（単価・員数・金額・その他の数字・記載事項等）**の転記に誤りはありませんか？
（なお、見積書において「円単位」となっているものを、計画調書作成・記入要領の注意書きに従って、「千円未満の端数を切り捨てて千円単位に修正」したことに伴う金額の相違については、この限りではありません。）

⑧「計画調書」及び「応募カード」に記載された、**単価・員数・金額・件数・人数・その他の数字及びその合計**に誤りはありませんか？

応募に必要な書類及び提出部数

応募に必要な書類	提出部数
データベース計画調書	５部（正１部、副４部） ※副のうち１部はｸﾘｯﾌﾟでとめる
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が２つの場合 審査希望分野が３つの場合	 １０部（正１部、副　９部） １５部（正１部、副１４部） ※副のうち１部はｸﾘｯﾌﾟでとめる
「経理管理及び監査体制」についての添付資料 **（経理管理関係規則）**※学術団体等が応募する場合に該当	５部
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が２つの場合 審査希望分野が３つの場合	 １０部 １５部
応募カード	１部
入力作業委託費見積書	５部（正１部、副４部）
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が２つの場合 審査希望分野が３つの場合	 １０部（正１部、副　９部） １５部（正１部、副１４部）
CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費見積書	５部（正１部、副４部）
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が２つの場合 審査希望分野が３つの場合	 １０部（正１部、副　９部） １５部（正１部、副１４部）
その他の審査資料 (1)利用規程　Ⓐ (2)検索過程・結果　Ⓑ （検索開始から検索結果が表れるまでの画面上の過程をそれぞれプリントスクリーン等で印刷し、検索過程における画面上の流れが分かるようにしたもの） (3)検索マニュアル　Ⓒ (4)CD-ROM又はDVD-ROM等配布先一覧	各１部

平成２４年度 研究成果公開促進費 審査希望分野表

系	審査希望分野	番号	参考となる関連専門分野
人文科学系	哲学	110	哲学・倫理学　中国哲学　印度哲学・仏教学　宗教学　思想史　美学・美術史
	文学A	120	日本文学
	文学B	130	ヨーロッパ語系文学　各国文学・文学論　その他文学Aに該当しないもの
	言語学	140	言語学　日本語学　英語学　日本語教育　外国語教育
	史学A	150	日本史
	史学B	160	史学一般　東洋史　西洋史　考古学　その他史学Aに該当しないもの
	人文地理学・文化人類学	170	人文地理学　文化人類学・民俗学
社会科学系	法学	210	基礎法学　公法学　国際法学　社会法学　刑事法学　民事法学　新領域法学
	政治学	220	政治学　国際関係論
	経済学	230	理論経済学　経済学説・経済思想　経済統計学　応用経済学　経済政策 財政学・金融論　経済史
	経営学	240	経営学　商学　会計学
	社会学	250	社会学　社会福祉学
	心理学	260	社会心理学　教育心理学　臨床心理学　実験心理学
	教育学A	270	教育学　教育社会学　特別支援教育
	教育学B	280	教科教育学　その他教育学Aに該当しないもの
理工系	数物系科学A	310	数学　天文学　物理学　プラズマ科学
	数物系科学B	320	地球惑星科学　その他数物系科学Aに該当しないもの
	化学	330	基礎化学　複合化学　材料化学
	工学A	340	応用物理学・工学基礎　電気電子工学　材料工学　プロセス工学
	工学B	350	機械工学　土木工学　建築学　総合工学　その他工学Aに該当しないもの
生物系	生物学	410	基礎生物学　生物科学　人類学
	農学	420	農学　農芸化学　林学　水産学　農業経済学　農業工学　畜産学・獣医学　境界農学
	医歯薬学A	430	薬学　基礎医学
	医歯薬学B	440	内科系臨床医学　外科系臨床医学　歯学
	医歯薬学C	450	境界医学　社会医学　看護学　その他医歯薬学A及び医歯薬学Bに該当しないもの

２．　「応募カード」の記載事項を確認するに当たって

「応募カード」は、

・応募課題を審査するに当たっての審査資料の作成
・採否の結果をお知らせする際の通知文書の作成
・採択のあった課題に対して、交付決定を行う際の通知文書の作成
・補助金額の決定
・その他、採択課題として決定した後の事務処理

を行う際の基礎となる、**非常に重要な応募書類**です。

「計画調書」に正しい記載があっても、「応募カード」に正しく転記がなされていなかったり、記載漏れがあった場合には、審査に付すことができなくなったり、「応募カード」に記載された誤った情報のまま審査に付され、その後処理されることになりますので、記載漏れ・記載情報の誤りが無いか、次頁以降の注意書きの内容を参照の上、確認してください

【記入例】

この欄は記入しないでください

*受付番号	

※応募(代表)者が所属する研究機関が記入する事項	研究機関名称			
	機 関 番 号		整理番号	

1．この欄は、「研究成果データベース」において必要とされる記入欄です。
「学術誌データベース」に応募される方は、何も記入しないでください。

平成２４年度 データベース 応募カード

（応募カード作成・記入要領に基づき記入してください。）

応募区分 ： 1．研究成果ＤＢ 2．学術誌ＤＢ 2 （対応する番号を記入）

2．希望する「応募区分」がきちんと選択（対応する番号を記入）されていますか？
この応募区分に誤り又は選択が無い場合は、適切に審査ができなくなる場合もありますので、必ず該当の区分を正しく選択してください。

フ リ ガ ナ （ 研究者番号： ）

応募(代表)者職名・氏名 ガクジュツ ハナコ

（記名押印又は署名） 委員長 学 術 花 子 印

（生年月日：明・大・昭 ○○年○○月○○日生）

3．応募代表者の職名・氏名に誤りはありませんか？
記名・押印又は署名（直筆）がありますか？
押印は、応募代表者本人の印**（個人印）**となっていますか？
応募団体の公印・職印が誤って押されていませんか？
「フリガナ」に記入漏れはありませんか？

※ 郵便物等送付先（書類送付の際の宛名シールの基本となります。）

(1) 郵便番号

1	2	3	－	4	5	6	7

(2) 住 所

△	△	市	◇	◇	区	×	×		1	ー	5	ー	9						

(3) 宛 名

社	団	法	人		○	○	学	会		編	集	担	当	学	振	太	郎		

4．（1）郵便番号、（2）住所、（3）宛名に誤りはありませんか？
この欄に記載された住所に、「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の関係書類を送付することになりますので、誤りがないか確認をしてください。

なお、この住所（応募団体所在地）が、日本国内でない場合は、審査に付すことができなくなります。

【参照】：公募要領１２頁 「(3) データベース」

1 審査希望分野**【共通】【研究成果DB、学術誌DB 計画調書１】**

4	1	0

（対応する番号を記入）

＜広領域応募の場合のみ記入＞**【研究成果DB、学術誌DB 計画調書1-2】**

（対応する番号を記入）

5．「審査希望分野」は正しく記載されていますか？
・審査希望分野が１つの分野である場合
⇒**上段**にのみ、対応する審査希望分野の番号が正しく記載されていること。

・審査希望分野が２つ以上の分野にまたがる場合＜広領域応募＞
⇒**下段**にのみ、対応する審査希望分野の番号が正しく記載されていること。

なお、以下①～④に該当する場合は、審査に付すことができなくなります。

①審査希望分野の番号の記入が無い。
②上段、下段の両方に審査希望分野の番号が記載されている。
③「審査希望分野表」に存在しない番号が記載されている。
④「広領域応募」の応募課題で、同じ「系（人文科学系・社会科学系・理工系・生物系）」の中から２つ以上の審査希望分野の番号が記載されている。

【参照】：計画調書１８頁。「1 審査希望分野(番号)」及び「1-2 審査希望分野(番号)」

2 作成組織又は応募団体の名称**【研究成果DB、学術誌DB 計画調書１】**

【共通】

(1) フリガナ

シ	ヤ	ダ	゛	ン	ホ	ウ	シ	゛	ン		○	○	カ	゛	ツ	カ	イ		

(2) 漢 字

社	団	法	人		○	○	学	会											

6．計画調書１頁。「３ 応募団体名称」と同一ですか？
「フリガナ」に記入漏れはありませんか？
濁点・半濁点も「１文字」として正しく記載されていますか？

ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの名称	○○○○○○○○○データベース

7．データベースの名称は正しく記載されていますか？

【記入例】

3　応募(代表)者の職名・氏名　　**【共通】【研究成果DB、学術誌DB　計画調書４】**

(1)フリガナ

イ	イ	ン	チ	ョ	ウ		カ	゛	ク	シ	゛	ュ	ツ		ハ	ナ	コ		

(2)漢字

委	員	長		学	術		花	子											

8．　計画調書１頁。「４　応募代表者職名・氏名」と同一ですか？
「フリガナ」に記入漏れはありませんか？
職名と氏名の間、氏名の姓と名の間には、**１枠分のスペース**が空いていますか？
濁点・半濁点も「１文字」として正しく記載されていますか？

4　データベースの名称（日本語名及び英語名略称）　　**【共通】**
【研究成果DB、学術誌DB　計画調書６】

(1)　日本語名

○	○	○	○	○	○	○	○	○	テ	゛	ー	タ	ヘ	゛	ー	ス			

(2)　英語名略称

A	B	C	D	B															

9．計画調書１頁「６　データベースの名称」と同一ですか？
濁点・半濁点も「１文字」として正しく記載されていますか？

※　以下５～６は、応募区分が「研究成果ＤＢ」の場合のみ記入してください。

5　対象分野　　**【研究成果DB 計画調書７】**

10．応募区分が「学術誌データベース」であるにも関わらず、誤って記入されていませんか？

6　データベースの種類・性格　　**【研究成果DB 計画調書９】**

＜上　段＞　| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |　（複数選択可）

（１．書誌情報　２．数値情報　３．画像情報
４．音声情報　５．動画情報　６．その他）

＜下　段＞　| 1 | 2 | 3 |　（　１．レファレンス　　２．論文　　３．ファクト　）
（複数選択可）

【記入例】

※　以下７～９は、応募区分が「学術誌ＤＢ」の場合のみ記入してください。

7　データベースの種類　**【学術誌DB 計画調書９】**

1	2	3	4	5	6

（複 数 選 択 可）

１．書誌情報　２．数値情報　３．画像情報
４．音声情報　５．動画情報　６．そ の 他

11．計画調書１頁「9 データベースの種類・性格」と同一ですか？
＜上段＞＜下段＞とも、記載の漏れはありませんか？

8　投稿論文取扱状況　**【学術誌DB 計画調書22】**

						（うち海外からの件数）					
平成２２年度投稿論文数			3	7	3	件	（			3	0	件 ）
平成23年10月１日現在の							（うち海外からの件数）					
掲載(採用)件数			1	4	7	件	（			1	4	件 ）
審 査 中 件 数				2	0	件	（				5	件 ）
不 採 用 件 数			2	0	6	件	（			1	1	件 ）

12．計画調書５頁「22 投稿論文取扱状況」の各々の記載と同一ですか？

投稿から掲載までの平均期間・最短期間

平均期間		3	0	日	最短期間		2	0	日

9　海外学術雑誌における掲載論文の引用状況　**【学術誌DB 計画調書25】**

	引 用 件 数							Impact factor値					
２００９年							件	該	当	な	し		
２０１０年				4	0	8	件	1	.	6	8	7	

13．計画調書６頁「25 海外学術雑誌における掲載論文の引用状況」各々の記載と同一ですか？

ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの名称	○○○○○○○○○データベース

14．データベースの名称は正しく記載されていますか？

【記入例】

※　以下は、応募区分が「研究成果ＤＢ」、「学術誌ＤＢ」のいずれの場合も記入してください。
ただし、応募区分がいずれかの場合にのみ記入する旨の注記がある記入欄（12､15）については、該当しない応募区分の場合には記入しないでください。

10　公開開始年月もしくは公開予定年月【研究成果DB、学術誌DB　計画調書10】
【共通】　昭和（平成）　1 9 年　 3 月
（元号はいずれかを○で囲むこと）

11　入力予定データ量【研究成果DB 計画調書14】【学術誌DB 計画調書13】
【共通】

レコード数：平成２４年度分								1	5	0	0	件
作成期間の合計							1	0	5	0	0	件
総データ容量：平成２４年度分							2	0	0	.	0	MB
作成期間の合計						1	6	0	0	.	0	MB

12　公開利用件数（アクセス数）の推移　【研究成果DB 計画調書16】【学術誌DB 計画調書15】
【共通】

平成２０年度実　績									件
平成２１年度実　績									件
平成２２年度実　績									件
平成２３年度見込み									0 件
平成２４年度見込み				1	0	0	0	0	件

（うち有償アクセス件数の推移）【学術誌DB 計画調書15】
【「学術誌ＤＢ」の場合にのみ記入】

（ 平成２０年度実　績									件 ）
（ 平成２１年度実　績									件 ）
（ 平成２２年度実　績									件 ）
（ 平成２３年度見込み								0	件 ）
（ 平成２４年度見込み						8	0	0	0	件 ）

（うち海外からのアクセス件数の推移）【学術誌DB 計画調書15】
【「学術誌ＤＢ」の場合にのみ記入】

（ 平成２０年度実　績									件 ）
（ 平成２１年度実　績									件 ）
（ 平成２２年度実　績									件 ）
（ 平成２３年度見込み								0	件 ）
（ 平成２４年度見込み						3	0	0	0	件 ）

ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの名称	○○○○○○○○○データベース

15．計画調書２頁「15 公開状況」と同一ですか？

16．計画調書２頁「13 入力予定データ量」欄に記載された、
＜レコード数＞
「平成２４年度」のレコード数及び「今回応募する事業期間（１～５年）」のレコード数の合計と同一ですか？
＜総データ容量＞
「平成２４年度」の総データ容量及び「今回応募する事業期間（１～５年）」の総データ容量の合計と同一ですか？

17．【参照】：計画調書２頁「15 公開利用件数（アクセス数）の推移」欄に記載された件数と同一ですか？

18．データベースの名称は正しく記載されていますか？

【記入例】

13　課題番号及び内約を受けた額　**【研究成果DB 計画調書20】【学術誌DB 計画調書18】**

（継続課題についてのみ、その内約期間に限り記入のこと）

課題番号	2	3	7	8	9	0

平成２４年度		6	6	0	0	千円
平成２５年度		7	2	0	0	千円
平成２６年度		7	2	0	0	千円
平成２７年度		8	0	0	0	千円

19．この欄は、平成２４年度に継続内約があり、かつ大幅な計画変更を行おうとする課題に該当する場合に使用する欄です。
　平成２４年度に継続の内約の無い応募課題であるにも関わらず、誤ってこの欄に記入されているようなことはありませんか？

※平成２３年度の「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の交付決定を受けていても、同時に翌年度（平成２４年度以降の補助金の交付予定額の内約を受けていない課題は、今回応募をする際には、「新規応募課題」としての扱いとなりますので、新規応募の課題の場合は何も記入しないでください。

14　補助要求額　【研究成果DB 計画調書21】【学術誌DB 計画調書19】

【共通】

平成２４年度		5	2	6	1	**千円**
平成２５年度		5	5	9	1	**千円**
平成２６年度		5	2	4	1	**千円**
平成２７年度		4	0	9	1	**千円**
平成２８年度		3	7	1	0	**千円**

20．「14 補助要求額」欄に記載された各年度の金額に誤りはありませんか？
・「計画調書」に記載した
「入力作業協力に対する人件費・謝金」「入力作業委託費」「著作権使用料」「消耗品費」
「CD-ROM 又はDVD-ROM等作成委託費」「その他」の各経費の合計額が正しく記載されていますか？
【参照】：計画調書３頁「19学術誌データベースの作成に直接必要となる経費」

なお、今回応募しようとする期間中の、各年度ごとの補助要求額が「０（ゼロ）」円または無記入である場合は、当該年度の補助金が交付されることはありません。なお、平成２４年度の補助要求額が「０（ゼロ）」円または無記入である場合は、審査に付すことができなくなります。

15　補助要求額の内訳（平成２４年度）

【「研究成果ＤＢ」の場合にのみ記入】　【研究成果DB 計画調書21】

入力作業協力に対する人件費・謝金						千円
入力作業委託費						千円
著作権使用料						千円
国内連絡旅費						千円（１００千円程度）
消耗品費						千円
CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費						千円
その他						千円

21．応募区分が「学術誌データベース」であるにも関わらず、誤って記入されていませんか？

【「学術誌ＤＢ」の場合にのみ記入】　【学術誌DB 計画調書19】

入力作業協力に対する人件費・謝金		2	2	5	0	千円
入力作業委託費		1	4	4	0	千円
著作権使用料			4	0	0	千円
消耗品費			1	0	0	千円
CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費			3	8	0	千円
その他			2	5	0	千円

22．「15 補助要求額の内訳」欄に記載された、平成２４年度の各経費の金額に誤りはありませんか？

ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの名称	○○○○○○○○○データベース

23．データベースの名称は正しく記載されていますか？